

電線共同溝 BIM/CIM モデル自動作成プログラムの開発について ～円滑な合意形成と事業期間の大幅短縮に向けて～

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、円滑な合意形成と事業期間の大幅短縮に向けて、電線共同溝の BIM/CIM モデルを自動作成するプログラムを開発しました。

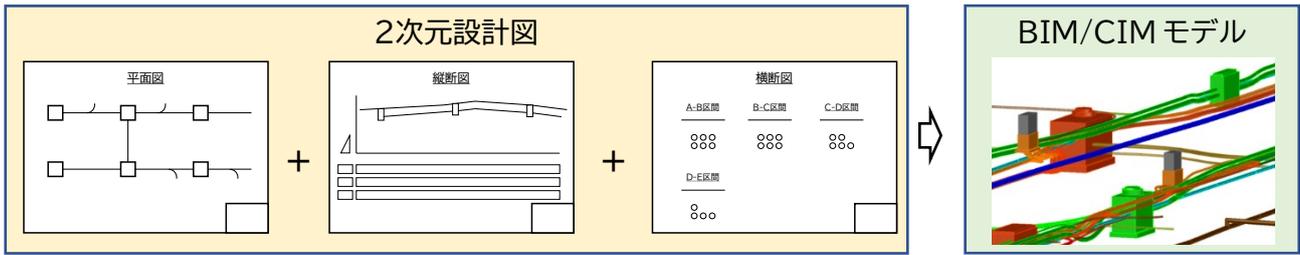
無電柱化は、防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成の観点から事業が進められてきましたが、近年、災害の激甚化・頻発化、あるいは高齢者の増加等により、その必要性は高まっています。このような状況から、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により電柱倒壊のリスクがある市街地等の緊急輸送道路の無電柱化が進められています。また、無電柱化法第7条の規定に基づく「無電柱化推進計画」が策定され、令和3年度から5年間で4,000 kmを整備するとしています。

ただし、この無電柱化に向けた電線共同溝事業は、関係者との協議・調整に時間を要し、それに伴って事業期間が長期にわたることなどの課題を有しています。これらの対応策の一つに BIM/CIM の活用が期待されていますが、計画が頻繁に変更される電線共同溝設計において BIM/CIM モデルの作成負担が大きく、十分に利活用されていない実態があります。そこで、当社は2次元の平面図・縦断図・特殊部間毎の横断図を読み込むことで、BIM/CIM モデルを自動で作成するプログラムを開発しました。

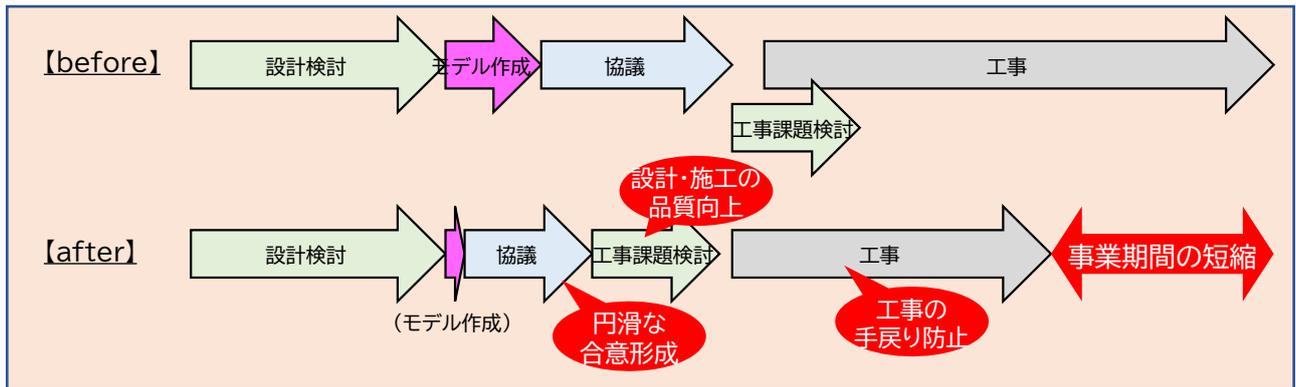
このことによって、従来1～1.5 カ月を要していたモデル作成時間を半日程度で作成可能となり、95%以上の時間短縮ができるようになります。そのため、計画の初期段階から BIM/CIM モデルを活用できるため、工事で予想される課題を設計段階でフロントローディングにより検討・解決することができ、設計・施工の品質が向上します。また、計画変更に対しても短時間で対応できるため、3次元モデルを有効活用した円滑な協議と確実な合意形成を図ることができます。

当社においては、今後も電線共同溝事業において更なる技術開発を進め、幅広いサービス・価値を提供し、社会貢献を果たしてまいります。

◆開発プログラムの概要



◆本開発による効果



＜本資料に関するお問い合わせ先＞
 株式会社オリエンタルコンサルタンツ
 TEL:03-6311-7551 FAX:03-6311-8011
 URL:<https://www.oriconsul.com/>
 統括本部 伊藤、丸山、門司